

大野城市教育施策大綱(案)に対する意見募集結果の概要について

1 提出意見

合計 31 件（当日配付資料②のとおり）

（意見内訳）

| 分類 | 件数 | 修正あり | 修正なし |
|--------|----|------|------|
| 字句の修正 | 17 | 16 | 1 |
| 図・表の修正 | 3 | 3 | 0 |
| 内容への意見 | 6 | 4 | 2 |
| その他 | 5 | 0 | 5 |
| 合計 | 31 | 23 | 8 |

2 内容変更を伴う主な意見

◆意見 No. 2・3 基軸【徳】「他人を思いやる心、社会に貢献しようとする態度を備えた心豊かな市民を育みます」について(p. 4)

- ・「態度を備えた」が「社会貢献しようとする」にかかり「態度」という言葉が、人によっては語彙が強く社会貢献に対して強制的な意味合いに捉えてしまう可能性がある。
- ・他の基軸に比べて【徳】の文が長く、分かりづらい。

⇒「他人を思いやり、社会に貢献しようとする心豊かな市民を育みます」に修正した。

◆意見 No. 29 「ふるさと意識」の言葉の意味が分かりにくいので、「活気あふれるまちをつくる」の表記がよいと思う。(p. 10)

⇒・【現状と課題】の「ふるさと意識」について、下記の説明を追記した。

「市民の、自分たちが住む地域への誇りや愛着、地域の一員であるという「ふるさと意識」を醸成するため、

- ・基本理念に「郷土を愛し」を示していることから、その実現の指針である基本方針では「ふるさと意識を醸成する」という表現にしている。

以上

教育施策大綱(案)に対する意見一覧

| No. | ページ | 記載内容 | 具体的な提案・修正案 | 分類 | 対応 | 提案者 |
|-----|-----|--|--|-------|--|------|
| 1 | 3 | 5 基本理念 説明6・7行目 「市民一人一人が主役となって大野城の未来を切り拓いていく必要があります。」の、「必要」は言葉が強いと思う。 | 例)市民一人一人が大野城の未来を切り拓いていく主役となっていけることを期待します。 | 字句の修正 | 基本理念を設定するにあたって、本市の教育における課題や今後の方向性についてを説明するものであることから、ご指摘を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 「市民一人一人が主役となって大野城の未来を切り拓くことのできる「ひとづくり」を進めていく必要があります。」 | 山口委員 |
| 2 | 4 | 6 基軸 【徳】となる基軸の「態度を備えた」が「社会貢献しようとする」にかかり「態度」という言葉が、人によっては語彙が強く社会貢献に対して強制的な意味合いに捉えてしまう可能性がある。 | 「社会貢献をしたいという心を持つことでその思いが具体的な行動に繋がり、その行動がいつしか社会貢献へと繋がっていく」と捉えた案を、4つ提案。 ①他人を思いやる心、社会に貢献しようと思う姿勢を備えた心豊かな市民を育みます (態度を姿勢に変更 大綱案 基軸の説明文中の語句) ②他人を思いやる心、社会に貢献したいと思う姿勢を備えた心豊かな市民を育みます (貢献したいと希望する意味合いに変更) ③他人を思いやる心、社会貢献への意欲を兼ね備えた心豊かな市民を育みます (前に「他人を思いやる心」があるので、2つ目として「兼ね備えた」と追加) ④他人を思いやる心、社会貢献への思いを抱く心豊かな市民を育みます (社会に貢献したい気持ちを持つことを前面に) | 字句の修正 | ご提案を踏まえて、No.3のとおり修正いたします。 | 佐藤委員 |
| 3 | 4 | 6 基軸 他人を思いやる心、社会に貢献しようとする態度を備えた心豊かな市民を育みます【徳】他の【郷土】【知】【体】に比べて【徳】の文が長く、わかりづらい。「態度を備えた」の文を省いたら意味がどのようになるのでしょうか。もし、なくてもよいのであればカットしたらどうか。 | すっきりと「態度を備えた」を省いて <u>他人を思いやる心、社会に貢献しようとする心豊かな市民を育みます【知】</u> にしたら、どうでしょうか。 この言葉に「社会に貢献しようとする」市民を目指していることが伝わればいいかと思いますが。 | 字句の修正 | ご提案を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 「他人を思いやり、 <u>社会に貢献しようとする心豊かな市民を育みます</u> 」 | 藤河委員 |

| No. | ページ | 記載内容 | 具体的な提案・修正案 | 分類 | 対応 | 提案者 |
|-----|------|--|--|--------|--|------|
| 4 | 4 | 基軸の【郷土】【知】【徳】【体】は、5ページからのアイコン色を生かしたデザインにしたほうが、後に挙げる基本方針との関連性が視覚的にわかりやすい。 | 基軸はテキスト文字で記載する必要があるならば、横にアイコンや色を添えて見やすくして頂きたい。 | 図・表の修正 | ご提案のとおり修正いたします。 | 佐藤委員 |
| 5 | 4 | 6 基軸 基軸のタイトル【郷土】などが、あたりにきた方が見やすい気がします。 | | 図・表の修正 | ご提案のとおり修正いたします。 | 山口委員 |
| 6 | 4 | 6 基軸 基軸の説明文と重なるので、記載の仕方を変更してはいかがでしょうか。 | 意図があるのであれば承知いたします。 例) 【知】学び続ける市民 【徳】心豊かな市民 【体】たくましく生きる市民 【郷土】「ふるさと大野城」の発展に関わる市民 としたうえで、説明文で補足する。 | 字句の修正 | 説明文がなく、基軸のみの場合でも、分かりやすく示すことができるよう、現状のままとさせていただきたいと存じます。 なお、下段の説明文は、各基軸を補足説明する記述であることから、基軸の表現と一部重なっています。 | 山口委員 |
| 7 | 4 | 6 基軸 説明6行目 「そのため、小中学校では～進めています。」の文章は必要ですか？ | 「知・徳・体」が義務教育内の目標のように受け取れることで視点がぶれるので、小中学校の記述は外していいかと思えます。 | 内容への意見 | 対象箇所は現在まで行っている取り組みを一例として示している箇所ですが、分かりやすくなるよう、ご指摘を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 「そのため、本市の小中学校では、 <u>現在も</u> 、」 | 山口委員 |
| 8 | 5～11 | 基本方針の見出しについて ライフステージの背景色を変えて、人物アイコンが入っていたほうが市民にも視覚的にわかりやすい。 | ライフステージ別に背景色を薄めに入れる、またはすでにある見出し枠線の色を変えることで「郷土」「知」「徳」「体」のアイコンとは被らずにカテゴリ分けすることが可能。 | 図・表の修正 | ご提案を踏まえ、各基本方針が記載されている枠をライフステージごとの色に修正いたします。 また、2ページ目の「4 体系図」に示す基本方針についても枠の色を合わせて修正いたします。 | 佐藤委員 |

| No. | ページ | 記載内容 | 具体的な提案・修正案 | 分類 | 対応 | 提案者 |
|-----|------|---|---|--------|---|------|
| 9 | 5～11 | <p>基本方針のライフステージによる分類に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初から年齢区分と沿った形で作成に取り組みましたのでしょうか。 ・年齢区分の根拠を教えてください。 ・分類しにくいところをあえて分類されているような感じがする。 ・基本方針4、5に関しては小中学校への取組のように感じるので、ライフステージの偏りがあるように感じる。 ・ライフステージが子ども(本人)と子育て(保護者)と重なっているところが「ライフステージ」というワードとの違和感がある。 | <p>目安ということだとは思いますが、特に青年期、壮年期と区切ることに少し違和感あります。何の基準での分けをされているのでしょうか。</p> <p>ライフステージの表示の仕方を幅をもたせ時系列で表記ができたと思う。</p> <p>※協議を重ねての表記だと思いますので、個人的な一意見として提示させていただきました。</p> | 内容への意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージや年齢区分の明示は、各方針の対象者を明確にし、市民から見て分かりやすくなることをねらいとしています。また、年齢区分は今まで作成してきた各種計画も参考にして、就学や成人、家族の変化、退職など人生の大きなライフイベントで分けています。 <p>なお、年齢区分は現在策定中の第6次総合計画後期基本計画と整合するよう進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針4・5は、ご指摘のとおり、市立小中学校の学校教育に関連した基本方針のため、児童・少年期に区分けしています。 また、基本方針は現状と課題を踏まえ方向性を整理していますので、ライフステージにより基本方針の数に多少はあると考えています。 ・乳幼児期は、こどもの成長に親の支えが特に必要不可欠であることから、子だけでなく親への支援も含めて基本方針を整理しています。 ・青年期と壮年期は親族や家庭、自身のからだの変化等の状況が異なると判断していますので、ライフステージを分けて基本方針を整理しています。 ・2ページ目の基本方針の表示については対象となるライフステージだけでなく、基軸の視点との関係もわかりやすくなるよう示していることから、現状のままとさせていただきますと存じます。 | 山口委員 |
| 10 | 5 | <p>基本方針 1</p> <p>【現状と課題】2行目</p> <p>「安全で質の高い教育」を</p> <p>【今後の方向性】とあわせた方がよいと思う。</p> | <p>「安全で質の高い<u>幼児</u>教育」に修正。</p> | 字句の修正 | <p>ご提案のとおり修正いたします。</p> | 山口委員 |
| 11 | 5 | <p>基本方針 1</p> <p>【現状と課題】5行目</p> <p>子育てにおける<u>経済的な不安を抱える人も多く</u></p> | <p>「不安を抱える人」という表記を変えた方がよいと思います。</p> <p>案)不安を軽減するために/経済的な支援として/経済的な不安に対して</p> | 字句の修正 | <p>ご指摘を踏まえて、以下のとおり修正いたします。</p> <p>「<u>子育て世帯の経済的な不安に対して、</u>」</p> | 山口委員 |
| 12 | 5 | <p>基本方針 2</p> <p>「子どもたち」とは、何歳から何歳までのことを指すのでしょうか。</p> | | その他 | <p>基本方針2では「乳幼児期(0～5歳)」を対象としています。</p> | 藤河委員 |

| No. | ページ | 記載内容 | 具体的な提案・修正案 | 分類 | 対応 | 提案者 |
|-----|-----|--|--|-------|--|------|
| 13 | 5 | 基本方針 2 以前の教育施策大綱では「子ども」でしたが、今回「こども」になっている意図は。 | | その他 | 「こども」の表現は、本市の部署名が「こども」を使用していること、また、現在策定中の第6次総合計画後期基本計画においても「こども」を使用する予定としていることから、整合させるために使用しています。 | 藤河委員 |
| 14 | 5 | 基本方針 2 【現状と課題】2行目 「孤独感を抱えています。」は、言い切っていないのか？ | 案)孤独感を抱くことがあります。/孤独と感ずることがあります | 字句の修正 | ご指摘を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 「孤独感を感ずることがあります。」 | 山口委員 |
| 15 | 6・7 | 基本方針3、4、6は、[児童・少年期]を「こどもたち」で明記されますが、基本方針5は児童生徒となっていますが、使い分けしているのは？ | 特に使い分けの意図がないのであれば、基本方針3、4、6の[児童・少年期]は児童生徒に統一したらどうでしょうか。【現状と課題】【今後の方向性】のこどもたちも含めて⇒児童生徒へ | 字句の修正 | 「児童生徒」の表現は、学校教育に関連する部分のみに使用しているところです。 ご指摘を踏まえて、基本方針4は小・中学校の学校教育に関連するものであることから、【今後の方向性】の「こども」を「児童生徒」に修正いたします。 | 藤河委員 |
| 16 | 6 | 基本方針 4 「基軸」の4つの「視点」がすべて掲げられていますが、「郷土」の視点を挙げられている理由を教えてください。 | | その他 | 【現状と課題】で示した内容のほか、「ふるさと大野城」への愛着と誇りを持つことのできるよう教育環境を整備していく必要があることから、挙げています。 | 高野委員 |
| 17 | 6 | 基本方針4 見出し「学校教育環境を充実させる」 現状で1人一台タブレット配布やランチ給食制度など土台ができていますので既に達成できている印象を受ける。 | 「学校教育環境をさらに充実させる」とすることで、現状に満足せずに土台を活かし、今よりもっと充実させる必要があることを前面に押し出す。 | 字句の修正 | 基本方針の表記は他の方針の表記と合わせるため、現状のままとさせていただきたいと存じます。 また、ご提案を踏まえて、【今後の方向性】の表現については、以下のとおり修正いたします。 「学校教育環境の整備をさらに進めていきます。」 | 佐藤委員 |
| 18 | 6 | 基本方針 4 以下は、文章表現の案も含んでいます。 【今後の方向性】1行目 「…学校生活を送ることができ、また新たな時代に必要となる資質・能力を育成することができるよう…」ができるがだぶるので、はじめをカットする。 | 「…学校生活を送り、また新たな…」に修正。 | 字句の修正 | ご提案のとおり修正いたします。 | 藤河委員 |
| 19 | 7 | 基本方針 5 【現状と課題】4～5行目 「児童生徒の人権を守るために、市民の関心を高めること」について、文章の意味が伝わりにくいので説明がほしいです。 | | 字句の修正 | ご提案を踏まえて、No.20のとおり修正いたします。 | 山口委員 |

| No. | ページ | 記載内容 | 具体的な提案・修正案 | 分類 | 対応 | 提案者 |
|-----|-----|---|---|-------|---|------|
| 20 | 7 | 基本方針 5 【現状と課題】5行目 4行目 「児童生徒の人権を守るために、 <u>市民の関心を高めること</u> とは？ | 市民の関心を高めるとは、具体的にどのようなことでしょうか。 そのため代案はできないのですが… | 字句の修正 | 子ども達の人権やいのちを守るために実施している、人権・同和コミュニティ別研修会や子どもたちの「いのち」を守る研修会などに市民が意欲的に参加していただきたいと考えています。 表現については、ご指摘を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 「市民全体で関わっていく意欲を高めることや、」 | 藤河委員 |
| 21 | 7 | 基本方針 6 【今後の方向性】1行目 「相談支援体制が整い…」 今現在整っていることをいっているのか、今後さらに整えていくのか、なのか | 今後さらに整えていくのであれば 「相談支援体制を(さらに)整え…」 | 字句の修正 | ご提案のとおり修正いたします。 | 藤河委員 |
| 22 | 8 | 基本方針 7 【現状と課題】1～2行目 「…自分の居場所だと <u>感じることができ</u> 、地域や社会とつながることができる…」 「～ができ」がだぶるのでカット | 「…自分の居場所だと感じ、地域や…」に修正 | 字句の修正 | ご提案のとおり修正いたします。 | 藤河委員 |
| 23 | 8 | 基本方針 7 【現状と課題】4行目 「青少年の育成を求められており…」 | 「青少年の育成が…」に修正 | 字句の修正 | ご提案のとおり修正いたします。 | 藤河委員 |
| 24 | 9 | 基本方針 10 【現状と課題】2行目 「仲間と出会うことができる <u>生きがいづくり</u> 仲間と出会う生きがい？仲間と出会う環境でしょうか？」 | 「仲間と出会うことができる環境づくり…」に修正 | 字句の修正 | ご提案のとおり修正いたします。 | 藤河委員 |
| 25 | 9 | 基本方針 10 【現状と課題】4行目 「地域で活躍できる環境を整える」ことから、4行目に貢献活動を挿入したらどうでしょうか。 | 「また、学びの場や、スポーツ、芸術文化活動、 <u>貢献活動</u> など高齢者が地域で活躍できる機会」に修正 | 字句の修正 | ご指摘を踏まえて、以下のとおり修正いたします。 「また、学びの場や、スポーツ、芸術文化、 <u>貢献活動</u> など高齢者が地域で活躍できる機会」 | 藤河委員 |

| No. | ページ | 記載内容 | 具体的な提案・修正案 | 分類 | 対応 | 提案者 |
|-----|-----|---|--|--------|--|------|
| 26 | 11 | <p>基本方針 14 【現状と課題】5行目 「保有する施設施設総量の適正化…」 【今後の方向性】2行目 「公共施設に対し、長期的かつ経営的な視点での計画や管理、規模の適正化を行います。」</p> <p>前後の文脈からするとあたかも教育施設の統廃合を行うかのような印象を受けます。6総後期基本計画では、[取組1]で公共施設総体の整理再編をあげ、[取組2]では教育施設や設備の充実を掲げているので誤解の無いよう統一する必要があるのではと思います。</p> | | 内容への意見 | <p>ご提案を踏まえて、以下のとおり修正いたします。</p> <p>【現状と課題】 「保有する施設総量の適正化等による施設の更新費用の削減が求められています。」 →「利用者の安全や安心を確保したうえで、施設の長寿命化に努めることが求められています。」</p> <p>【今後の方向性】 「長期的かつ経営的な視点での計画や管理、規模の適正化を行います。」 →「長期的かつ経営的な視点での計画や管理を行います。」</p> | 高野委員 |
| 27 | 11 | <p>基本方針 13 【現状と課題】 大野城市民読書推進に関して力を入れているので、芸術文化に含まれているかもしれませんが、別途記載はしないのでしょうか。</p> | <p>あらゆる世代の市民が、年齢及び発達段階、ライフステージに応じた読書を楽しめる取組を実施し、豊かな心を育む読書活動を推進します。 (「大野城市民読書活動推進計画」の基本目標1「あらゆる世代の読書の推進」から抜粋)</p> | 内容への意見 | <p>ご提案を踏まえて、以下の通り修正いたします。</p> <p>【現状と課題】 (1行目)「スポーツや芸術文化などの様々な体験活動は、」 ⇒「スポーツや芸術文化などの様々な体験活動や読書活動は、」 (3行目)「これらの体験活動を充実」 ⇒「これらの活動を充実」 (4行目)「また、スポーツや芸術文化への関わり方は」 ⇒「また、スポーツや芸術文化、読書活動への関わり方は」</p> <p>【今後の方向性】 (1行目)「すべての世代でスポーツや芸術文化に触れる」 ⇒「すべての世代でスポーツや芸術文化などに触れる」</p> | 山口委員 |
| 28 | 全体 | <p>今回より基本方針の見出しが具体的な考え方に伴う言葉で記載されてあることで、今後の施策が方針に沿ったものかどうか確認がしやすくなったと思います。</p> <p>ライフステージと全体とで体系化されてあるので、より身近な課題の解決に繋がる基本方針になっている、と感じました。</p> | | 内容への意見 | <p>ご意見ありがとうございます。</p> | 佐藤委員 |

| No. | ページ | 記載内容 | 具体的な提案・修正案 | 分類 | 対応 | 提案者 |
|-----|-----|---|--|--------|---|------|
| 29 | 全体 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと意識」言葉の意味を教えてください。 ・敢えて、ひらがな表記をしているのはなぜですか。 | 「ふるさと意識」を醸成するというのはわかりにくいので、「活気あふれるまちをつくる」の方がよいと思う。 | 内容への意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと意識」には、自分達が住む地域への誇りや愛着、地域の一員としての意識という意味があります。ご指摘を踏まえて、基本方針12の【現状と課題】に以下のとおり追加いたします。 「市民の、自分たちが住む地域への誇りや愛着、地域の一員であるという「ふるさと意識」を醸成するため、」 ・「ふるさと」は、常用漢字表では「古里」と表記することになりますが、市民に伝わりやすいように、ひらがなで表記しています。 ・基本理念に「郷土を愛し」を示していることから、その実現の指針である基本方針では「ふるさと意識を醸成する」という表現が適切であると思料しています。そのため、現状のままとさせていただきます。 | 山口委員 |
| 30 | 全体 | 第6次総合計画後期基本計画との整合性はわからない。 | | その他 | 教育施策大綱の基本方針を、後期基本計画における方針と趣旨を合わせることで、整合性を図ることとしています。 | 山口委員 |
| 31 | 全体 | 全て「こども」と表記した理由を教えてください。 | | その他 | No.13と同じになりますが、「こども」の表現は、本市の部署名が「こども」を使用していること、また、現在策定中の第6次総合計画後期基本計画においても「こども」を使用する予定とすることから、整合させるために使用しています。 | 山口委員 |